

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 11 月 20 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3870104449		
法人名	社会福祉法人愛寿会		
事業所名	グループホーム であい		
所在地	愛媛県松山市余戸南5丁目3-18 (電話) 089-972-5511		
管理者	岡田千恵美		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 9 月 25 日	評価確定日	平成 19 年 11 月 21 日

【情報提供票より】 (平成 19 年 8 月 8 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 11 月 9 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 13 人, 非常勤 1 人, 常勤換算	13.6 人

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000 円	その他の経費(月額)	8,000 円
敷金	有( )円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

### (3) 利用者の概要 (平成 19 年 8 月 8 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 名	女性 18 名
要介護 1	2 名	要介護 2	4 名
要介護 3	7 名	要介護 4	1 名
要介護 5	4 名	要支援 2	名
年齢	平均 84 歳	最低 73 歳	最高 95 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは静かな田園地帯に立地した総合福祉施設の1階にある。併設施設のバスを利用して外出の機会を多く持つことができ、更に施設内の様々な行事に参加する機会が多い。併設施設での入浴も可能なので、浴室の窓から景色を楽しみながら寛ぐこともできる。ホーム内が広く利用者は歩く機会が多いため、機能維持にもつながっている。身体機能の面でホームとして対応が難しくなった利用者は併設の特養に入所することも可能である。併設施設で調理された食事が届けられるので、調理に当てる時間を利用者のケアに有効に活かせる。職員は利用者の一人ひとり

## 【質向上への取組状況】

<p>▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)</p> <p>チーム会議の機会が十分でなかったため、会議を毎月開催するようにし、職員が十分話し合う中から改善点を発見し、ケアの質の向上につなげている。</p>
<p>▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)</p> <p>地域との交流が十分行われていないので、今後一層、運営推進会議を充実させ、地域に向けて理解と協力を求めて行くよう検討している。ホーム外での研修の機会を増やし、更に他のホームとの交流を積極的に進め、ケアの向上につなげて行くよう努めている。</p>
<p>▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)</p> <p>利用者、家族代表、市担当者、地域包括支援センター、地域代表者等の出席を得て、行事報告を行い、地域との連携等に関して具体的な問題点を取り上げ、意見交換を行っている。今後は固定した出席者でなく、地区担当の民生委員、消防署、交番などの出席を得て、地域との交流を深めて行くよう検討している。</p>
<p>▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)</p> <p>毎月「ホーム便り」を家族に届け、利用者の生活の様子を伝え、面会日には家族の要望を具体的に聞き取っている。ホーム内と第三者機関に相談窓口を設け、また玄関に意見箱を備えて家族からの声を聞き取り、ケアに活かしている。</p>
<p>▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)</p> <p>地域の福祉関係事業所の行事に積極的に参加し、またホームの行事にも招待して交流を深めている。併設施設で介護予防教室が毎月開催されており、教室に出席した地域の人がホームを訪ね、知り合いの利用者に声をかけてくれることもある。今後は運営推進会議を通して地域との協力関係を更に推進して行くよう検討している。</p>

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム であい

(ユニット名) 桜の宿

記入者(管理者)  
氏名 岡田 千恵美

評価完了日 平成 19 年 8 月 25 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 職員皆で利用者様とどんな風に過ごしたいか取り組める理念をBS法で考えつくった	※	今後も職員利用者様共に定期的に話し合っていきたい
			(外部評価) 開設当初の理念「一人ひとりの生活を大切に、共に暮らしを楽しむ」をサービスの中心として掲げ、具体的なケアに活かしている。しかし地域密着型サービスの役割を反映した理念はまだ完成していない。	※	従来の理念に地域密着型サービスの役割を加えたホーム独自の理念を職員全員で作り上げることを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 利用者様にはどの様に過ごしてもらいたい、ユニットの目に付くところに掲示し、理念の文面を読みながら、日々取り組んでいる	※	理念に沿ってサービスが行えているが今後は定期的にワーカー会等話合いの場にだし再認識していきたい
			(外部評価) 開設以来の理念を職員全員で大切にし、利用者の幸せにつながるよう日々努めているが、地域密着型サービスの実践に向けた理念の取り組みはまだ実践されていない。	※	地域密着型サービスの理念を作り上げ、重要書類に明示し、本人・家族等に説明することが求められる。またホーム内の見やすい場所に掲示し、来訪者に啓発することも期待する。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族様には理念の浸透ができていると思われるが、地域への浸透はできていない	※	運営推進会議を活用して地域に向けて理念の浸透を図りたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩のとき等出会ったときに挨拶をしたり、近隣の施設に季節行事の声かけを行っている	※	今以上にご近所・近隣の施設等に季節のイベントの声かけを行っていく
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 近隣の事業所の行事に参加し交流を深めている また、事業所の行事にも参加してもらえる様に努めている 総合施設として支援センターが毎月1回介護予防教室を開催しておりその機会を利用して面会に来られる方もおられる  (外部評価) 地域の数か所の福祉施設と交流を進めている。併設施設での行事には地域の人に参加を呼びかけ、交流に努めている。地元の行事には極力参加するよう努めており、地方祭にはみこし、獅子舞が訪ねてくれるので、利用者との楽しみとなっている。	※	運営推進協議会・民生委員会等を通じて地元の方との交流を図って行く
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 総合施設として地域の高齢者の相談等に親身に対応している		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価することでもう一度改善点を理解し取り組んでいる  (外部評価) 職員全員が自己評価に取り組んでいる。また外部評価であげられた課題についても、改善が可能な点を全職員が話し合っており取り組んでいる。	※	見直したことが自然消滅しない様折に触れて話し合いの場を持つようにしたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 利用者様・家族様にも参加してもらい、活動状況や今抱えている問題を報告し意見をうかがっている また、介護保険課の職員や包括支援センターの職員・民生委員に助言をいただき、GHの取り組みに役立っている	※	今までに出席して頂けていないご家族様に特にアプローチして運営推進会議にご出席して頂きご意見を伺える機会を持ちたい
			(外部評価) 行政、地域代表者、利用者、家族代表、地域包括支援センターなどの参加を得て、着実に実績を上げている。次回は自己評価、外部評価結果を公表して話し合いを持つよう検討している。	※	会議への参加者を固定せず、地域担当の民生委員、消防署、交番などの参加を得、地域密着型サービスのケアに活かす工夫が求められる。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 総合施設として相談したり、助言を頂いたりしているが、現在はGHとしては運営推進会議以外の交流はないので、今後検討したい	※	市が行う事業などに今後協力していきたい
			(外部評価) 市担当者に疑問点等を相談したり、地域包括支援センターと連携を取り合いながら、ケアの向上に努めている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 制度があることは知っているが、内容を正確に理解できていないため、今後学ぶ機会を持つ必要がある	※	勉強会を開催して制度を分かりやすく学ぶ機会を定期的に作りたい
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会を開き職員全員で理解をし防止に努めている	※	外部の研修を含めて勉強会を開催し更に理解を深めていく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前に時間をかけて十分な説明を行っている ご本人様とご家族様に納得してもらってから契約をしている		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご本人様から直接寄せられる意見を大切に事業運営に反映させている		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月のお便りと共に近況の写真も送付し様子をお知らせし、また、面会時に日々の生活の様子を報告すると共に、お小遣い帳の確認とサインを頂いている 遠方の家族様や、必要時には電話にて状況を報告している  (外部評価) 利用者の暮らしぶりをホーム便りで紹介し、家族の来訪時には出納簿を確認してもらい、健康状態や生活の様子を各家族に具体的に伝えている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 提案箱を設置し運営に反映させていると共に、ご家族様から直接寄せられる意見も大切に事業運営に反映させている  (外部評価) ホーム内と第三者機関の相談窓口を説明書に明示し、本人・家族に説明している。玄関には意見箱を設置し、来訪者からの声を募り、ケアに活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会・ワーカー会などのおり運営者に向けて提案は行っている		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 緊急時や要望があった時は勤務変更をし柔軟な対応をしている (総合施設として職員の電話連絡網有り)		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 総合施設のため行事の時など顔をあわせる職員も多く、まったく知らない職員が異動することの無いように心がけている  (外部評価) 併設の施設間での異動は時折あるが、利用者と施設内の職員とは互いに顔見知りの場合が多く、異動の際にもスムーズにケアにあたることができる。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部研修や、総合施設としての内部研修など（毎月あり）に参加し研鑽している  (外部評価) 併設の施設内での研修には毎月参加し、研鑽に努めている。またホーム外の研修にも参加し、研修記録を残して職員のケアの向上に活かしている。	※	外部の研修を含めて勉強会を開催し更に理解を深めていく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 同法人内ではあるがセクション会を開催しサービスの向上に努めている	※	市が主催する同業者との交流事業には出来るだけ積極的に参加してゆく
			(外部評価) 関連施設との交流会や学習会に毎月参加して研鑽に努めている。他ホームとの直接の交流は、今後の検討課題として前向きに取り組むよう検討している。	※	他ホームとの交流に積極的に努め、相互に具体的なケアの向上につなげることが期待される。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 施設全体での懇親会を開催し自由に話ができるような場を提供しているが、中にはストレスの解消が出来ない職員もいる様に思われる	※	必要に応じてフォローしてゆく
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者は管理者を通して職員の勤務状態や悩みなど把握するように努めている		スタッフの個性や特技を生かせる職場にして行きたい
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時から入居前までにご本人様からよく話しを聞く機会を何度か持つようにしている		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時から入居前までにご家族様からよく話しを聞く機会を何度か持つようにしている		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) デイサービス・ショートステイ・訪問介護など各種サービスの提示を行い、説明のうえ支援が行えるように親身に対応している		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居目的の相談の方が多くいきなりの施設サービスのご利用となっているが、デイサービス・ショートステイをご利用の後グループホームへ入居された方もおられる  (外部評価) 関連施設のショートステイを利用した後、ホームへの入居を希望する人もいる。その際はホームの生活の様子を家族にも説明し、ホームに馴染んでもらうよう努めている。直接ホームに入居を希望する人にも、同様にホームの生活や職員に馴染んでもらうよう支援している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々の生活を通じて一緒にいろいろな事をする事で楽しんだり喜んだりしている  (外部評価) 日々の生活の中で、好みや機能に応じて出番を多く見つけ、共に支え合いながら楽しみを分かち合っている。手伝いのできない利用者には極力声かけをし、触れ合いを心がけている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来所時など日々の生活の様子を報告し機会があれば行事に参加し一緒に楽しんで頂いている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 一緒に行事に参加して頂いたり月に一度はご本人様に手紙を書いて頂くなどよい関係が築いていけるように努力している		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ご家族様が自宅へ連れ帰ったり、墓参りに同行したり、また月1回自宅のある島へドライブされている方もおられる	※	昔住んでいた馴染みの場所や地域へのドライブ等を企画していきたい
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 日々の生活の中で協力して一緒に行う事によって信頼しあえる関係作りに努めている		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 買い物に行った先で、死亡退所された方のご家族様と近況状況のお話をしたり、併設の特養に移動された方のご家族様が面会にこられ時に近況などお話される事もある		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の暮らしの中でさりげなく思いや意見を聞いており、ご利用者様の立場で、何を思い考えているか理解できるように努めている  (外部評価) 普段の生活の中から、洋服を選んでもらったり、レクリエーションで好みの歌を選んでもらったり、行事の際には好みそうな選択肢を示して手伝ってもらっている。家族から得た情報も十分活かしている。	※	今の状態に満足せずご利用者様の立場に立って考えることが出来るスタッフになれる様取り組んでいく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 折に触れ、ご本人様やご家族様からお元気なころどの様に暮らしておられたか、さりげなく伺うようにしている	※	今以上にご本人様やご家族様から生活歴やなじんできた暮らしを聞き取り記録して活用していく
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 朝・夕の申し送りにて心身の状態などを把握すると共に介護記録を読んで把握できるようにしている		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人様のご希望やご家族様のご意向を伺いながら、職員間でも話し合い、ご利用者様本位のケアプランを作成している  (外部評価) 新しい入居者に対しては、家族の意見も十分聞き取った上で利用者本位の暫定的なプランを立て、機能や生活の様子をモニタリングしつつ、修正を加えてケアプランを作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月に1回見直しを行い、また、心身の状況に変化があればその都度の見直しを行っている  (外部評価) 3か月に1度、生活の様子や身体状況の記録を基に、職員全員が十分話し合い、家族の意見や、場合によれば担当医師の助言も含めて見直しを行っている。また見直し以前に状況が変化した利用者に対してはその都度対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個人のケース記録や連絡ノートに記入し情報を共有している	※	個人のケース記録の記入方法を変更しその方の様子変化にもっと気付けるような記録を目指していく
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) ご利用者様やご家族様のご要望があった時に事務所を通じて訪問歯科の利用や介護用品・福祉用具の購入等支援できるようにしている  (外部評価) 併設施設のバスを利用して度々ドライブに出かけたり、デイサービスの人と外出をすることも。また行事に参加する、特養の広い浴場で入浴する、利用者や家族の要望にそった支援をするなど、臨機応変に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 総合施設として月に1~2回ボランティアに来てもらったり、民生委員さんには運営推進会議に出席して頂いている		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 病院受診の折にヘルパー利用で受診している方もおられる		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進協議会を通じて協働を行っている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 先生が2週間に1回木曜日に往診に来られる以外に状態を連絡すればこまめに往診して頂ける 他に入居前からの主治医である病院にご家族様同伴で受診されている方もおられる  (外部評価) 2つの協力医療機関を確保しており、2週間に1度往診があり、必要に応じて特養に往診に来ている医師の診察も受けることができる。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) ご利用者様によっては、入居前から受診している心療内科受診時の参考になる様に、ご家族様に日頃のご様子を報告し専門医受診の支援をしている		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 計画作成担当者が看護師の資格を持っている 総合施設である為、計画作成担当者が不在の時には、併設の特養の看護師に相談・助言等支援をしてもらっており24時間いつでも連絡が取れる体制としている		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ご利用者様が入院した時には、早期退院に向けて入院している病院と情報交換を行い、また、入院中には管理者・計画作成担当者が出来る限り面会に訪れ、情報を収集している		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ご家族様ときめ細かく連絡を取り、協力病院の医師が24時間対応できるようになっている  (外部評価) 職員は重度化やターミナルケアに関してマニュアルに沿った学習を行い、家族の要望を十分取り入れ、医師と連携をとりながら対応している。	※	介護保険の更新時にターミナルについての意見を伺っていく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 総合施設として、ターミナルケアの勉強会を毎月1回(第2水曜日)に行っている 必要な知識を身につけるため看護師に相談したり、資料を基に勉強している		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) サマリー等を活用して生活の様子等の情報を提供出来る様になっている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 丁寧に親しみやすい言葉遣いを心がけている 大声で遠くから話しかけることなくご本人様のそばでゆっくりと言葉掛けが出来るように対応している  (外部評価) 職員は個人情報保護に関する意識を高め合っており、利用者に対しては優しい言動で一人ひとりのプライドを大切にしている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) ご利用者様のご希望をお伺いし、ゆっくり自己決定が出来るように支援している また、その方のレベルにあわせた説明を心がけている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ご利用者様一人一人のペースを大切にしながらご希望に沿って支援している ご自分から意思表示の出来にくい方や動きにくい方に対しては、職員のペースになってしまう事もある  (外部評価) 常に声かけをしながら利用者一人ひとりのその時々々の気持ちを大切に、それぞれの能力や希望に応じた生活ができるよう支援している。	※	職員のペースになりつつもご利用者様ができるだけ自己決定できるように支援している
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 総合施設として契約している美容院が月2回、理容院が2ヶ月に1回来所しており、これを利用している 外出時にはよそ行きの服が着れる様に支援している		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 総合施設のため厨房での調理が主であるが、昼・夕の副菜を一品ご利用者様と一緒に調理・後片付けまで行っている  (外部評価) 利用者の力や興味に応じて食事の手伝い、後片付け、テーブル拭きなどを共に行っている。食事時は懐かしい音楽を静かに流し、介助の必要な利用者には傍らに座り、食事が終わるまで優しく声かけをしながらケアに当たっている。	※	ご利用者様と一緒にその日1日の献立を考え、買い物に行き調理し食べ、後片付けする日を検討中 月1回から取り組みたい
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 朝食に限らず主食をパンで食べて頂いている方がおられる 週1回(木曜日)パン屋さんが来るので、おやつにパンを買って食べる方もおられる 現在お酒・タバコのご利用は無いが、ご希望があれば支援できる		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンを把握し出来るだけトイレでの排泄が出来るように、見守り声かけにてさりげない支援をしている		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 一人一人午前・午後等のご希望を伺い、その方にあった入浴支援を行っている(週3~4回)  (外部評価) 日や時間など、個人の希望に沿って入浴を支援している。現在は入浴を嫌がる利用者はいない。時折、特養の浴室で外の景色を楽しみながら入浴することもある。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中なるべく体を動かして頂き夜の安眠につなげている居室でなく人の気配のするリビングのほうが安心して休める方もおり、リビングのソファで見守りしながら休んで頂いている また、冬場には眠れない方に手浴・足浴をし安眠の支援を行っている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) ご自分の身の回りの始末や掃除、洗濯物を畳んだり食事前後の台ふきなど可能な範囲で自分の事は自分で出来るよう、役割を持って暮らして頂いている  (外部評価) 食事前後の手伝い、洗濯物たたみ、掃除など、利用者それぞれが出番を多く持てるよう支援している。毎週音楽療法を実施しており、全員が大きい声を出して楽しく歌っている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 小額の現金をご自分で管理されている方もおられ、外出時はできるだけ自分が支払えるよう見守り支援している		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 出来るだけ外気に触れていて頂けるよう1日1回は戸外で散歩や歩行練習できるように支援している  (外部評価) 利用者の希望に沿い、併設施設のバスを利用して花見、いちご狩り、初詣、公園などへ出かけて楽しんでいる。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) ご利用者の希望を伺い毎月1~2回は外出プランを立て外出する機会を持ち、ご家族様も都合がつけば外食など一緒する事もある また、併設のデイサービスや特養と一緒に外出する行事も多い(各種花見・イゴ狩り・観劇等)		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 毎月請求書の送付に合わせてご家族様にむけてお便りを書いて頂けるように、お便りが書きにくい方には名前だけでも書いて頂けるように支援している ご家族様や友人の方から近況を伝えて下さる方もおられる		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも気軽に訪問して頂き居心地よく過ごして頂いているご利用者様の日頃の様子をお話したり近くに行われる行事への参加等もお声かけさせて頂いている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会へは参加したが周知徹底できていない職員もいる	※	外部の研修を含めて勉強会を開催し更に理解を深めていく
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は玄関の鍵はかけていない(18時～6時施錠) 夜間は総合玄関で対応している ユニットの出入り口は施錠されているが職員がご利用者様と一緒に行動しており面会などの対応できている  (外部評価) 利用者に心理的負担感を与えないよう、日中は玄関に施錠していない。職員が利用者の外出傾向を把握し、常に利用者に目配りしながら安全な生活ができるよう配慮している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は複数の職員が声かけ見守りし安全に努めているが、夜間は2ユニットに1人の夜勤者での対応となり不安は残る		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物品の保管・管理の取り決めを行い危険防止に努めている		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ひやりはつとを記入しスタッフ全員がそのときの対応について考える 事故後事故報告書を記入しその後1ヶ月後にカンファレンスをしその人に応じた出来る出来ないを理解している		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変時の連絡体制をつくり、年1回救急救命の講習を受けているが急変時すぐに対応できるか不安はある	※	ワーカー会で説明し更に理解の浅い職員には個人的に指導し理解を深めていく
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) マニュアルあり（緊急時の連絡網等） 総合施設として防火訓練を年に4回実施している  (外部評価) 災害対策マニュアルを作成し、施設全体として年に数回訓練を実施している。その内2回は消防署の協力を得て訓練を実施している。非常食、飲料水、薬などの備蓄もある。	※	運営推進会議や他の機会を通じて、地域の協力を得た訓練の実施ができるよう話し合いを進め、地域と協働して避難訓練を行うことを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居契約時、その後も管理者、計画作成担当者から折に触れお話させていただいている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 常に様子観察を行い異常の早期発見に努め対応している		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) どのような薬を服用しているか細かいところまでは把握できていないが用法や用量に変化があったときは確認できている	※	更に職員が、ご利用様が服用されている薬の把握が出来るように対応する

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分をしっかり飲んで頂く 寒天ゼリー等で食物繊維を摂る 歩行練習で体を動かす 必要に応じて医師に薬を処方してもらう 等対応している	※	個々の排泄パターンを確認把握し便秘にならない様に職員1人1人がさらに対応していく
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の歯磨き・うがいの声かけ介助の徹底 必要時、週1回(木曜日)の訪問歯科受診で対応している	※	尚一層の口腔ケアの介助やチェックを要する
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個々に食事量・水分摂取量のチェック・把握している 献立については厨房の栄養士がバランスを考え立てている  (外部評価) 食事、水分摂取量は詳細に記録し、関連施設の栄養士がカロリーチェックを行っている。栄養や水分が適切に確保できるよう、一人ひとりに十分なケアを行っている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルあり 総合施設として勉強会で感染症の予防対策等学んでいる 手洗い・うがい・消毒等毎日実施している インフルエンザの予防についてはご利用者さま職員共に毎年予防接種を受けている		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 総合施設のため食材は厨房で管理されている また、栄養士による巡回もあり助言・指導受けている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 花壇に花を植えたりウェルカムポストを置くなどしている	※	季節の花を利用者様と一緒に選び育てたい
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節に合わせた壁面飾りなどで配慮工夫している  (外部評価) 広い共用空間にはソファを置き、床の間のある和室を設け、見やすい時計やカレンダーを備え、ゆったりと寛ぐことができる。また中庭にはテーブルを備えてあり、自由に使用できる。明かり、音、換気の管理も適切に行われている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファや和室の空間を利用して気配はあるが一人になれる場所を提供している		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) なじみの私物を持参される方が少ない中でできるだけ自分の居室らしくなるよう工夫している  (外部評価) 利用者それぞれの思い出の写真や馴染みの物品を部屋に飾り、思い思いの部屋づくりをしている。仏壇を持ち込んでいる部屋もあり、一人ひとりが落ちついて安心した生活が送れるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎朝ご利用者に窓を開けてくれるよう声かけし開けて頂いている。冬・夏エアコンを利用し快適に過ごせるよう配慮している。冬場にはリビングに加湿器を置き咽の弱い方には居室に加湿器や濡れタオルをかけて対応している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 要所に手すりがついておりつかまり歩行できるようになっている また、車椅子がゆっくり通れる広さを確保できている		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 表札や物の名前等記入して日頃より混乱を防ぐようにしている	※	ワーカー会等で定期的に職員間の解釈のズレを直していく
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 洗濯物を干したり散歩・歩行練習できる場として活用している また、中庭を利用して食事・おやつ・レクリエーションの場として活用している		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日頃より1人1人とコミュニケーションをとりどんな事をしたいか、把握に努めている
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	午前・午後のお茶の時間にゆっくり過ごす時間をとっている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1人1人のペースを大切にし工夫もし楽しく意欲の出る生活が出来るようにしている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	車椅子で過ごされる方も何人かおられる 認知症が進んだ方でも「何か」をお願いすると「なにをしたらいいの」といきいきした顔をされ職員の支援の元一生懸命して下さる
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	2~3名又は、ユニット全体でのドライブ・買い物・食事などでかけている また、近所への散歩・歩行練習にも出かけている
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	かかりつけ医との連携がとれておりグループホームの職員に1名看護師が常勤している また、入院前からの主治医にご家族様やヘルパー同行で定期的又は、必要時受診されている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ご利用者様の訴えに対しよくお話を伺い解決策を一緒に考えている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時・ケアプラン更新時等お話しする時間を持ちめったに面会に来られないご家族様には電話や書面にて対応している
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族様・お身内の方・ご友人等面会に来られる

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③ あまり増えていない 4 全くいない	地域の方としての参加者は民生委員の会長のみ
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々ご利用者様と接する中で気持ちの切り替えやストレスの発散がうまく出来ずストレスが溜まっている職員もいるようだ
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	「ありがとう」とお礼は言ってくれるが共同生活という制約があり全員が満足されてはいるように思われる
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	特に表立った不満は聞かれないが面会時など日頃よりどのように思われているかお話を伺うようにしている

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

高齢者総合福祉施設として成り立っており周辺には住宅・田園が広がっている。重信川、出合橋のすぐ横に位置しており豊かな自然が残っている。併設施設である為施設内での職員移動はあるが、情報の共有化が出来ておりご利用者様の移動に対しても手厚い支援を行うことが出来る。また、法人内で防災・事故防止等のマニュアルが統一されており所内における職員の教育も充実している。



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
**“愛媛県地域密着型サービス評価”**

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム であい

(ユニット名) 梅の宿

記入者(管理者)  
氏名 角田 京子

評価完了日 平成 19 年 8 月 25 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 職員皆で利用者様とどんな風に過ごしたいか取り組める理念をBS法で考えつくった	※	今後も職員利用者様共に定期的に話し合っていきたい
			(外部評価) 開設当初の理念「一人ひとりの生活を大切に、共に暮らしを楽しむ」をサービスの中心として掲げ、具体的なケアに活かしている。しかし地域密着型サービスの役割を反映した理念はまだ完成していない。	※	従来の理念に地域密着型サービスの役割を加えたホーム独自の理念を職員全員で作りに上げることを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 利用者様にはどの様に過ごしてもらいたい、ユニットの目に付くところに掲示し、理念の文面を読みながら、日々取り組んでいる	※	理念に沿ってサービスが行えているが今後は定期的にワーカー会等話合いの場にだし再認識していきたい
			(外部評価) 開設以来の理念を職員全員で大切にし、利用者の幸せにつながるよう日々努めているが、地域密着型サービスの実践に向けた理念の取り組みはまだ実践されていない。	※	地域密着型サービスの理念を作り上げ、重要書類に明示し、本人・家族等に説明することが求められる。またホーム内の見やすい場所に掲示し、来訪者に啓発することも期待する。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族様には理念の浸透ができていると思われるが、地域への浸透はできていない	※	運営推進会議を活用して地域に向けて理念の浸透を図りたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩のとき等出会ったときに挨拶をしたり、近隣の施設に季節行事の声をかけを行っている	※	今以上にご近所・近隣の施設等に季節のイベントの声をかけを行っていく
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 近隣の事業所の行事に参加し交流を深めている また、事業所の行事にも参加してもらえる様に努めている  (外部評価) 地域の数か所の福祉施設と交流を進めている。併設施設での行事には地域の人に参加を呼びかけ、交流に努めている。地元の行事には極力参加するよう努めており、地方祭にはみこし、獅子舞が訪ねてくれるので、利用者の楽しみとなっている。	※	運営推進協議会・民生委員会等を通じて地元の方との交流を図って行く
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 総合施設として地域の高齢者の相談等に親身に対応している		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価することでもう一度改善点を理解し取り組んでいる  (外部評価) 職員全員が自己評価に取り組んでいる。また外部評価であげられた課題についても、改善が可能な点を全職員が話し合って取り組んでいる。	※	見直したことが自然消滅しない様折に触れて話し合いの場を持つようにしたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 利用者様・家族様にも参加してもらい、活動状況や抱えている問題を報告し意見をうかがっている また、介護保険課の職員や包括支援センターの職員・民生委員に助言をいただき、GHの取り組みに役立っている	※	今までに出席して頂けていないご家族様に特にアプローチして運営推進会議にご出席して頂きご意見を伺える機会を持ちたい
			(外部評価) 行政、地域代表者、利用者、家族代表、地域包括支援センターなどの参加を得て、着実に実績を上げている。次回は自己評価、外部評価結果を公表して話し合いを持つよう検討している。	※	会議への参加者を固定せず、地域担当の民生委員、消防署、交番などの参加を得、地域密着型サービスのケアに活かす工夫が求められる。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 総合施設として相談したり、助言を頂いたりしているが、現在はGHとしては運営推進会議以外の交流はないので、今後検討したい	※	市が行う事業などに今後協力していきたい
			(外部評価) 市担当者に疑問点等を相談したり、地域包括支援センターと連携を取り合いながら、ケアの向上に努めている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 制度があることは知っているが、内容を正確に理解できていないため、今後学ぶ機会を持つ必要がある	※	勉強会を開催して制度を分かりやすく学ぶ機会を定期的に作りたい
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会を開き職員全員で理解をし防止に努めている	※	外部の研修を含めて勉強会を開催し更に理解を深めていく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前に時間をかけて十分な説明を行っている ご本人様とご家族様に納得してもらってから契約をしている		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご本人様から直接寄せられる意見を大切に事業運営に反映させている		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月のお便りと共に近況の写真も送付し様子をお知らせし、また、面会時に日々の生活の様子を報告すると共に、お小遣い帳の確認とサインを頂いている 遠方の家族様や、必要時には電話にて状況を報告している  (外部評価) 利用者の暮らしぶりをホーム便りで紹介し、家族の来訪時には出納簿を確認してもらい、健康状態や生活の様子を各家族に具体的に伝えている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 提案箱を設置し運営に反映させていると共に、ご家族様から直接寄せられる意見も大切に事業運営に反映させている  (外部評価) ホーム内と第三者機関の相談窓口を説明書に明示し、本人・家族に説明している。玄関には意見箱を設置し、来訪者からの声を募り、ケアに活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会・ワーカー会などのおり運営者に向けて提案は行っている		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 緊急時や要望があった時は勤務変更をし柔軟な対応をしている (総合施設として職員の電話連絡網有り)		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 総合施設のため行事の時など顔をあわせる職員も多く、まったく知らない職員が異動することの無いように心がけている  (外部評価) 併設の施設間での異動は時折あるが、利用者と施設内の職員とは互いに顔見知りの場合が多く、異動の際にもスムーズにケアにあたることができる。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部研修や、総合施設としての内部研修など（毎月あり）に参加し研鑽している  (外部評価) 併設の施設内での研修には毎月参加し、研鑽に努めている。またホーム外の研修にも参加し、研修記録を残して職員のケアの向上に活かしている。	※	外部の研修を含めて勉強会を開催し更に理解を深めていく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 同法人内ではあるがセクション会を開催しサービスの向上に努めている	※	市が主催する同業者との交流事業には出来るだけ積極的に参加してゆく
			(外部評価) 関連施設との交流会や学習会に毎月参加して研鑽に努めている。他ホームとの直接の交流は、今後の検討課題として前向きに取り組むよう検討している。	※	他ホームとの交流に積極的に努め、相互に具体的なケアの向上につなげることが期待される。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 施設全体での懇親会を開催し自由に話ができるような場を提供しているが、中にはストレスの解消が出来ない職員もいる様に思われる	※	必要に応じてフォローしてゆく
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者は管理者を通して職員の勤務状態や悩みなど把握するように努めている		スタッフの個性や特技を生かせる職場にして行きたい
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時から入居前までにご本人様からよく話しを聞く機会を何度か持つようにしている		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時から入居前までにご家族様からよく話しを聞く機会を何度か持つようにしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) デイサービス・ショートステイ・訪問介護など各種サービスの提示を行い、説明のうえ支援が行えるように親身に対応している		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居目的の相談の方が多くいきなりの施設サービスのご利用となっているが、デイサービス・ショートステイをご利用の後グループホームへ入居された方もおられる  (外部評価) 関連施設のショートステイを利用した後、ホームへの入居を希望する人もいる。その際はホームの生活の様子を家族にも説明し、ホームに馴染んでもらうよう努めている。直接ホームに入居を希望する人にも、同様にホームの生活や職員に馴染んでもらうよう支援している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々の生活を通じて一緒にいろいろな事をする事で楽しんだり喜んだりしている  (外部評価) 日々の生活の中で、好みや機能に応じて出番を多く見つけ、共に支え合いながら楽しみを分かち合っている。手伝いのできない利用者には極力声をかけをし、触れ合いを心がけている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来所時など日々の生活の様子を報告し機会があれば行事に参加し一緒に楽しんで頂いている		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 一緒に行事に参加して頂いたり月に一度はご本人様に手紙を書いて頂くなどよい関係が築いていけるように努力している		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ご家族様が自宅へ連れ帰ったり、墓参りに同行したり、またいきつけの美容院へご家族様と共に出かける方もおられる	※	昔住んでいた馴染みの場所や地域へのドライブ等を企画していきたい
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 日々の生活の中で協力して一緒に行う事によって信頼しあえる関係作りに努めている		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 買い物に行った先で、死亡退所された方のご家族様と近況状況のお話をしたり、併設の特養に移動された方のご家族様が面会にこられ時に近況などお話される事もある		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の暮らしの中でさりげなく思いや意見を聞いており、ご利用者様の立場で、何を思い考えているか理解できるように努めている  (外部評価) 普段の生活の中から、洋服を選んでもらったり、レクリエーションで好みの歌を選んでもらったり、行事の際には好みそうな選択肢を示して手伝ってもらっている。家族から得た情報も十分活かしている。	※	今の状態に満足せずご利用者様の立場に立って考えることが出来るスタッフになれる様取り組んでいく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 折に触れ、ご本人様やご家族様からお元気なころどの様に暮らしておられたか、さりげなく伺うようにしている	※	今以上にご本人様やご家族様から生活歴やなじんできた暮らしを聞き取り記録して活用していく
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 朝・夕の申し送りにて心身の状態などを把握すると共に介護記録を読んで把握できるようにしている		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人様のご希望やご家族様のご意向を伺いながら、職員間でも話し合い、ご利用者様本位のケアプランを作成している  (外部評価) 新しい入居者に対しては、家族の意見も十分聞き取った上で利用者本位の暫定的なプランを立て、機能や生活の様子をモニタリングしつつ、修正を加えてケアプランを作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月に1回見直しを行い、また、心身の状況に変化があればその都度の見直しを行っている  (外部評価) 3か月に1度、生活の様子や身体状況の記録を基に、職員全員が十分話し合い、家族の意見や、場合によれば担当医師の助言も含めて見直しを行っている。また見直し以前に状況が変化した利用者に対してはその都度対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個人のケース記録や連絡ノートに記入し情報を共有している	※	個人のケース記録の記入方法を変更しその方の様子変化にもっと気付けるような記録を目指していく
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) ご利用者様やご家族様のご要望があった時に事務所を通じて訪問歯科の利用や介護用品・福祉用具の購入等支援できるようにしている  (外部評価) 併設施設のバスを利用して度々ドライブに出かけたり、デイサービスの人と外出をすることも。また行事に参加する、特養の広い浴場で入浴する、利用者や家族の要望にそった支援をするなど、臨機応変に対応している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 総合施設として月に1~2回ボランティアに来てもらったり、民生委員さんには運営推進会議に出席して頂いている		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 病院受診の折にヘルパー利用で受診している方もおられる		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進協議会を通じて協働を行っている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 先生が2週間に1回木曜日に往診に来られる以外に状態を連絡すればこまめに往診して頂ける。他に入居前からの主治医である病院にご家族様同伴で受診されたり、職員またはヘルパー同行で受診されている方もおられる  (外部評価) 2つの協力医療機関を確保しており、2週間に1度往診があり、必要に応じて特養に往診に来ている医師の診察も受けることができる。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) ご利用者様によっては、入居前から受診している心療内科受診時の参考になる様に、ご家族様に日頃の様子を報告し専門医受診の支援をしている		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 計画作成担当者が看護師の資格を持っている総合施設である為、計画作成担当者が不在の時には、併設の特養の看護師に相談・助言等支援をしてもらっており24時間いつでも連絡が取れる体制としている		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ご利用者様が入院した時には、早期退院に向けて入院している病院と情報交換を行い、また、入院中には管理者・計画作成担当者が出来る限り面会に訪れ、情報を収集している		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ご家族様ときめ細かく連絡を取り、協力病院の医師が24時間対応できるようになっている  (外部評価) 職員は重度化やターミナルケアに関してマニュアルに沿った学習を行い、家族の要望を十分取り入れ、医師と連携をとりながら対応している。	※	介護保険の更新時にターミナルについての意見を伺っていく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 総合施設として、ターミナルケアの勉強会を毎月1回(第2水曜日)に行っている 必要な知識を身につけるため看護師に相談したり、資料を基に勉強している		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) サマリー等を活用して生活の様子等の情報を提供出来る様になっている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 丁寧に親しみやすい言葉遣いを心がけている 大声で遠くから話しかけることなくご本人様のそばでゆっくりと言葉掛けが出来るように対応している  (外部評価) 職員は個人情報保護に関する意識を高め合っており、利用者に対しては優しい言動で一人ひとりのプライドを大切にしている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) ご利用者様のご希望をお伺いし、ゆっくり自己決定が出来るように支援している また、その方のレベルにあわせた説明を心がけている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ご利用者様一人一人のペースを大切にしご希望に沿って支援している ご自分から意思表示の出来にくい方や動きにくい方に対しては、職員のペースになってしまう事もある  (外部評価) 常に声かけをしながら利用者一人ひとりのその時々々の気持ちを大切に、それぞれの能力や希望に応じた生活ができるよう支援している。	※	職員のペースになりつつもご利用者様ができるだけ自己決定できるように支援している
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 総合施設として契約している美容院が月2回、理容院が2ヶ月に1回来所しており、これを利用している ご家族様とご一緒に馴染みの美容室に通う方もおられる 外出時にはよそ行きの服が着れる様に支援し、ご家族様の方から何を着るか指定される方もおられる		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 総合施設のため厨房での調理が主であるが、昼・夕の副菜を一品ご利用者様と一緒に調理・後片付けまで行っている  (外部評価) 利用者の力や興味に応じて食事の手伝い、後片付け、テーブル拭きなどを共に行っている。食事時は懐かしい音楽を静かに流し、介助の必要な利用者には傍らに座り、食事が終わるまで優しく声かけをしながらケアに当たっている。	※	ご利用者様と一緒にその日1日の献立を考え、買い物に行き調理し食べ、後片付けする日を検討中 月1回から取り組みたい
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 食べにくい方への特別食(ミキ食)を厨房から提供したり、主食をパンにしている方もおられる 現在、酒・タバコのご利用は無いがご希望があれば支援できる ご家族様と外食時にビールをたしなむ方もおられる		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンを把握し出来るだけトイレでの排泄が出来るように、見守り声かけにてさりげない支援をしている オムツ対応の方は定期的にチェックし交換している		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 一人一人午前・午後等のご希望を伺い、その方にあった入浴支援を行っている(週3~4回) また、男性職員の介助を好む方、好まない方がおられるので出勤日には対応出来るようにしている  (外部評価) 日や時間など、個人の希望に沿って入浴を支援している。現在は入浴を嫌がる利用者はいない。時折、特養の浴室で外の景色を楽しみながら入浴することもある。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中なるべく体を動かして頂き夜の安眠につなげている 居室でなく人の気配のするリビングのほうが安心して休める方もおり、リビングのソファで見守りしながら休んで頂いている また、冬場には眠れない方に手浴・足浴をし安眠の支援を行っている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) ご自分の身の回りの始末や掃除、洗濯物を畳んだり食事前後の台ふきなど可能な範囲で自分の事は自分で出来るよう、役割を持って暮らして頂いている  (外部評価) 食事前後の手伝い、洗濯物たたみ、掃除など、利用者それぞれが出番を多く持てるよう支援している。毎週音楽療法を実施しており、全員が大きい声を出して楽しく歌っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 小額の現金をご自分で管理されている方もおられ、外出時はできるだけ自分が支払えるよう見守り支援している		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 出来るだけ外気に触れていて頂けるよう1日1回は戸外で散歩や歩行練習できるように支援している  (外部評価) 利用者の希望に沿い、併設施設のバスを利用して花見、いちご狩り、初詣、公園などへ出かけて楽しんでいる。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) ご利用者の希望を伺い毎月1~2回は外出プランを立て外出する機会を持ち、ご家族様も都合がつけば外食など一緒する事もある また、併設のデイサービスや特養と一緒に外出する行事も多い(各種花見・イゴ狩り・観劇等)		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 毎月請求書の送付に合わせてご家族様にむけてお便りを書いて頂けるように、お便りが書きにくい方には名前だけでも書いて頂けるように支援している ご家族様や友人の方から近況を伝えて下さる方もおられる		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも気軽に訪問して頂き居心地よく過ごして頂いているご利用者様の日頃の様子をお話したり近くに行われる行事への参加等もお声かけさせて頂いている		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会へは参加したが周知徹底できていない職員もいる	※	外部の研修を含めて勉強会を開催し更に理解を深めていく
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は玄関の鍵はかけていない (18時～6時施錠) 夜間は総合玄関で対応している ユニットの出入り口は施錠されているが職員がご利用者様と一緒に行動しており面会などの対応できている  (外部評価) 利用者に心理的負担感を与えないよう、日中は玄関に施錠していない。職員が利用者の外出傾向を把握し、常に利用者に目配りしながら安全な生活ができるよう配慮している。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は複数の職員が声かけ見守りし安全に努めているが、夜間は2ユニットに1人の夜勤者での対応となり不安は残る		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物品の保管・管理の取り決めを行い危険防止に努めている		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ひやりはつとを記入しスタッフ全員がそのときの対応について考える 事故後事故報告書を記入しその後1ヶ月後にカンファレンスをしその人に応じた出来る出来ないを理解している		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変時の連絡体制をつくり、年1回救急救命の講習を受けているが急変時すぐに対応できるか不安はある	※	ワーカー会で説明し更に理解の浅い職員には個人的に指導し理解を深めていく
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) マニュアルあり（緊急時の連絡網等） 総合施設として防火訓練を年に4回実施している  (外部評価) 災害対策マニュアルを作成し、施設全体として年に数回訓練を実施している。その内2回は消防署の協力を得て訓練を実施している。非常食、飲料水、薬などの備蓄もある。	※	運営推進会議や他の機会を通じて、地域の協力を得た訓練の実施ができるよう話し合いを進め、地域と協働して避難訓練を行うことを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居契約時、その後も管理者、計画作成担当者から折に触れお話させていただいている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 常に様子観察を行い異常の早期発見に努め対応している		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) どのような薬を服用しているか細かいところまでは把握できていないが用法や用量に変化があったときは確認できている	※	更に職員が、ご利用様が服用されている薬の把握が出来るように対応する

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分をしっかり飲んで頂く 寒天ゼリー等で食物繊維を摂る 歩行練習で体を動かす 必要に応じて医師に薬を処方してもらう 等対応している	※	個々の排泄パターンを確認把握し便秘にならない様に職員1人1人がさらに対応していく
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の歯磨き・うがいの声かけ介助の徹底 必要時、週1回(木曜日)の訪問歯科受診で対応している	※	尚一層の口腔ケアの介助やチェックを要する
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個々に食事量・水分摂取量のチェック・把握している 献立については厨房の栄養士がバランスを考え立てている  (外部評価) 食事、水分摂取量は詳細に記録し、関連施設の栄養士がカロリーチェックを行っている。栄養や水分が適切に確保できるよう、一人ひとりに十分なケアを行っている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルあり 総合施設として勉強会で感染症の予防対策等学んでいる 手洗い・うがい・消毒等毎日実施している インフルエンザの予防についてはご利用者さま職員共に毎年予防接種を受けている		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 総合施設のため食材は厨房で管理されている また、栄養士による巡回もあり助言・指導受けている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 花壇に花を植えたりウェルカムポストを置くなどしている	※	季節の花を利用者様と一緒に選び育てたい
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節に合わせた壁面飾りなどで配慮工夫している  (外部評価) 広い共用空間にはソファを置き、床の間のある和室を設け、見やすい時計やカレンダーを備え、ゆったりと寛ぐことができる。また中庭にはテーブルを備えてあり、自由に使用できる。明かり、音、換気の管理も適切に行われている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファや和室の空間を利用して気配はあるが一人になれる場所を提供している		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) なじみの私物を持参される方が少ない中でできるだけ自分の居室らしくなるよう工夫している  (外部評価) 利用者それぞれの思い出の写真や馴染みの物品を部屋に飾り、思い思いの部屋づくりをしている。仏壇を持ち込んでいる部屋もあり、一人ひとりが落ちついて安心した生活が送れるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎朝ご利用者に窓を開けてくれるよう声かけし開けて頂いている。冬・夏エアコンを利用し快適に過ごせるよう配慮している。冬場にはリビングに加湿器を置き咽の弱い方には居室に加湿器や濡れタオルをかけて対応している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 要所に手すりがついておりつかまり歩行できるようになっている また、車椅子がゆっくり通れる広さを確保できている		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 表札や物の名前等記入して日頃より混乱を防ぐようにしている	※	ワーカー会等で定期的に職員間の解釈のズレを直していく
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 洗濯物を干したり散歩・歩行練習できる場として活用している また、中庭を利用して食事・おやつ・レクリエーションの場として活用している		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日頃より1人1人とコミュニケーションをとりどんな事をしたいか、把握に努めている
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	午前・午後のお茶の時間にゆっくり過ごす時間をとっている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1人1人のペースを大切にし工夫もし楽しく意欲の出る生活が出来るようにしている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	車椅子で過ごされる方も何人かおられる 認知症が進んだ方でも「何か」をお願いすると「なにをしたらいいの」といきいきした顔をされ職員の支援の元一生懸命して下さる
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	2~3名又は、ユニット全体でのドライブ・買い物・食事などでかけている また、近所への散歩・歩行練習にも出かけている
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	かかりつけ医との連携がとれておりグループホームの職員に1名看護師が常勤している また、入院前からの主治医にご家族様やヘルパー同行で定期的又は、必要時受診されている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ご利用者様の訴えに対しよくお話を伺い解決策を一緒に考えている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時・ケアプラン更新時等お話しする時間を持ちめったに面会に来られないご家族様には電話や書面にて対応している
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族様・お身内の方・ご友人等面会に来られる

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③ あまり増えていない 4 全くいない	地域の方としての参加者は民生委員の会長のみ
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々ご利用者様と接する中で気持ちの切り替えやストレスの発散がうまく出来ずストレスが溜まっている職員もいるようだ
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	「ありがとう」とお礼は言ってくれるが共同生活という制約があり全員が満足されてはいるように思われる
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	特に表立った不満は聞かれないが面会時など日頃よりどのように思われているかお話を伺うようにしている

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

高齢者総合福祉施設として成り立っており周辺には住宅・田園が広がっている。重信川、出合橋のすぐ横に位置しており豊かな自然が残っている。併設施設である為施設内での職員移動はあるが、情報の共有化が出来ておりご利用者様の移動に対しても手厚い支援を行うことが出来る。また、法人内で防災・事故防止等のマニュアルが統一されており所内における職員の教育も充実している。